

金沢動物園におけるキンランの保全活動

野口 忠孝
(横浜市立金沢動物園)

キンランは、環境省、神奈川県で準絶滅危惧種に指定されている。金沢動物園内でも生育数が少ないが主な原因は、園地林の荒廃と、ランミモグリバエの食害による果実形成不全が考えられた。保全活動として、園内生育地の林床整備を実施したことで、土中に休眠状態であった個体のシュート展開が見られた。またハエ対策として防虫ネットを設置することで、果実形成に導き、種子の確保に成功した。キンランは発芽条件が厳しい為、まずは生育地周辺で野外播種を試行した。地上部への展開は、1年以上要するため、現在は結果を待っている。今後は金沢動物園内での生育地外の発芽環境を特定し、野外播種を実施により、個体数増加を目指す。

